

# 秋田県認知症疾患医療センター便り

平成30年1月発行 NO.10

## 第5回全県地域包括支援センターミーティング


平成29年8月5日(土)にリハビリテーション・精神医療センター内にて、当センターと密接な関係を持つこととなる、地域包括支援センターの皆さまとの情報交換などを目的として、第5回全県地域包括支援センターミーティングを開催しました。

当日は、下村センター長から「認知症者の自動車運転及び免許更新について」、船木専従相談員から「認知症疾患医療センターの相談状況について」の講話を行い、その後、意見交換会(テーマ「地域包括支援センターと

して困っていることを語り合おう)を行いました。

意見交換会では受診拒否者の対応で困っているとの意見や自動車運転の相談も多くなっているなどの意見がありました。また、H29.7.22からの大雨により発生した秋田県豪雨災害の際の各機関での状況などについても意見交換を行い、有事の際の課題や地域支援の現状を知る良い機会になりました。今後もこのような研修会を開催し、課題を解決出来るよう、地域包括支援センターとの連携の強化を図って行きたいと考えております。

### ●認知症の原因別による症状の相違と運転行動の特徴

	アルツハイマー病	前頭側頭葉変性症	血管性認知症	レビー小体型認知症
記憶	エピソード記憶の障害(いつ、どこでといった記憶を思い出せない)	意味記憶が障害されることもある(言葉の意味、物の名前が分からず、会話が通じない)	エピソード記憶の障害	●エピソード記憶の障害はあるが目立たない場合もある。  ●症状が変動しやすい
場所の理解	侵される	保たれる	侵されることもある	侵される(特に視覚認知障害のため、位置関係がわかりにくくなる)
普段の態度	取り繕い、場合わせ(もっともらしい態度や反応を示す)	●我が道をいく行動  ●常同行動・固執(同じことを繰り返す。こだわり続ける)	●意欲低下  ●感情失禁(わずかなことで急に泣いたり、怒ったりする)	●幻視(実在しない人や動物などがありありと見える)  ●錯視(床のゴミなどを動物や虫と見まちがう)  ●大きな声での寝言
運転行動	●運転中に行き先を忘れる(迷子運転)  ●駐車や幅寄せが下手になる(接触事故)  	●交通ルール無視(信号無視)  ●わき見運転による追突事故  ●車間距離が短くなる	●運転中ボーっとするなど注意散漫になる  ●速度維持困難  ●ハンドルやギアチェンジの操作ミス  ●ブレーキペダルの操作が遅くなる	●注意・集中力に変動がみられるため、運転技術にもむらがある  ●自身の運転の危険性に気づいている場合がある  

参考:「認知症高齢者の自動車運転を考える家族介護者のための支援マニュアル©」(国立長寿医療研究センター)より

### ●主な意見交換会での意見

(テーマ「地域包括支援センターとして困っていることを語り合おう」)

#### 【自動車運転に不安があるも受診に結びつかないケース】

- 免許更新時の認知機能検査にて診断書提出を求められたタイミングで受診してみてもどうか?
- 医療機関への受診を促す前に生活支援の介入をしていく必要があると思われる。
- まずは顔を覚えてもらい「馴染み」の関係を作り、数ヶ月のスパンで受診に結び付けるような考え方や関わりが大切であると思われる。

## 平成29年度 グループホーム・小規模多機能型居宅介護ミーティング

平成29年10月21日(土)にリハビリテーション・精神医療センター内にて、地域で認知症の方々の支援を担う、地域密着型施設の皆さまとの情報交換などを目的として、グループホーム・小規模多機能型居宅介護ミーティングを開催しました。

当日は、北陸認知症看護認定看護師から「認知症者のケアについて」と題し、症状別の対応方法や接し方の基本などについての講話を行い、その後、事例検討会及び意見交換会(テーマ「職場で困っていることを語り合おう」)を行いました。

### ●主な事例検討会での意見

#### 【利用者間での過度なスキンシップに対する対応について】

- まずは本人の気持ちを知ることが大切である。
- 性的逸脱は薬剤調整にて改善することはあまりなく、対応が難しいのが実情であるが、必要に応じて受診し、薬剤調整を検討してみることも方法の一つ。
- 他利用者への影響がなければ見守りを基本とし、必要に応じてスタッフが介入する。
- 系列の施設があるようであれば、他施設へ移ってもらうなど環境調整を図ることも検討が必要。

#### 【物盗られ妄想のある利用者に対する介入方法について】

- 物盗られ妄想に対しては、正論を説明しても認識は出来ないと思われる。訴えを傾聴し、信頼関係を築けるような関わりを行っていくことが必要。
- レクリエーションなど他のことに意識を向けるように介入していく。
- 持ち物を写真にし、タンスに貼り管理するなど、本人が分かりやすいように工夫する。

事例検討会では、「利用者間での過度なスキンシップに対する対応」や「物盗られ妄想のある利用者に対しての介入方法」について検討を行い、意見交換会では、利用者への対応やスタッフ間の情報共有の方法などで悩んでいることが分かりました。また、どのようなレクリエーションを行っているのかなど各施設の状況についても意見交換を行い、交流を深める良い機会になったのではないかと思います。今後もこのような研修会を開催し、地域の施設との連携の強化及び地域の実情の把握を行っていきたくと考えております。

## 平成29年度 居宅介護支援事業所ミーティング

平成29年11月18日(土)にリハビリテーション・精神医療センター内にて、地域で認知症の方々の支援を担う、居宅介護支援事業所の皆さまとの情報交換などを目的として、居宅介護支援事業所ミーティングを開催しました。

当日は、下村センター長から「認知症者の自動車運転及び免許更新について」の講話を行い、その後、事例検討会及び意見交換会(テーマ「仕事で困っていることを語り合おう」)を行いました。

### ●主な事例検討会・意見交換会での意見

#### 【専門医の受診へ結びつけるには家族へどのように促していったら良いか?】

- 認知症が進行すると食べられなくなる、歩けなくなるなど今後のことを話し促してみる。

#### 【他のサービス利用を勧めても断られる利用者への対応は?】

- 親戚の人や利用中のサービス担当者など信頼している人や話を聞いてくれる人などから促してもらう。

事例検討会及び意見交換会では、サービス利用拒否の方の対応や本人と家族の折り合いが悪かったり、家族の理解不足により専門医に繋がっていないケースなど日頃悩んでいることなど活発に意見交換・検討がなされました。今後もこのような研修会を開催し、関係機関との連携強化及び地域の実情の把握を行っていきたくと思います。



秋田県立リハビリテーション・精神医療センター

## 秋田県認知症疾患医療センター

〒019-2492

秋田県大仙市協和上淀川字五百刈田352

TEL 018-892-3751 FAX 018-892-3816

<http://mcd.akita-rehacen.jp/>

相談時間 一月曜日～金曜日 9:00～16:00(祝祭日は除く)